

いくの学園主催講座 2020.2.15-16

DVと虐待の問題は、切り離せない問題であることは明らかであるものの、相互の分野の理解と密な連携はまだまだ十分とは言えません。さらに、両分野に限らず、精神科医療・障害福祉・司法・教育等、どの分野においても、トラウマを前提とした支援が必要であるにも関わらず、未だに専門家による「二次被害」が後を絶たないのが現状です。

本講座では、Ⅰ部において、昨年に引き続き、2018年の大阪府の提言のその後とこれからの支援のあり方について考える場を設け、Ⅱ部では当事者を主体とした支援のために今一度支援者自身がしっかりと理解しておくべきことについて学びます。

Ⅰ 困難な課題を抱える女性への支援を 前進させるために2020

2/15
(土)

9:30～ 受付開始

10:00～11:30 基調講演

【DV被害からの離脱・回復を支援する～被害者の「語り」にみる経験プロセス】

ゲスト：増井 香名子 氏

新見公立大学健康科学部地域福祉学科講師・大阪府立大学客員研究員

11:40～13:00 シンポジウム

【大阪府における保護を必要とする女性への支援のあり方について

～府の提言（2018）実現に向けて】

シンポジスト：増井香名子氏、大阪府女性相談センター職員、雪田樹理弁護士

Ⅱ DV・虐待によるトラウマを前提とした 支援について考える

2/15
(土)
～16
(日)

講 師：中島 幸子 氏 NPO法人レジリエンス 代表

【1日目】

14:00～15:30

研修 1

基本の「キ」 DV・虐待の構造とトラウマの影響

15:40～17:00

研修 2

当事者が望む支援とは

【2日目】

9:30～

受付開始

10:00～12:00

研修 3

支援者としての在り方 ～トラウマを前提とした支援

13:00～14:30

研修 4

実践現場からの報告①

ゲスト：荘保 共子氏 認定NPO法人こどもの里 理事長

14:40～16:20

研修 5

支援者にとって大切なこと

16:20～16:50

研修 6

実践現場からの報告②

認定NPO法人いくの学園 生活回復支援事業の紹介

場 所：ドーンセンター大会議室

対 象：DV・虐待等被害者支援関係者、精神科医療・障害・福祉・心理
司法・教育に携わる方、この問題に関心のある皆さま

参加費：15,000円（1日のみ8,000円）

*申込多数の場合は二日間受講者を優先とさせていただきます

【お申込み】2019年11月13日～2020年2月10日（定員70名、定員になり次第終了）
次のいずれかの方法でお申込みください。

①いくの学園HPより ②右のQRコードにてリンクへアクセス

③裏面FAX申込書に記入し、FAXによりお申込み

【お問合せ】ikuno.kouza@gmail.com

主 催：認定NPO法人いくの学園

後 援：大阪府



いくの学園主催講座2020.2.15-16 ゲスト・講師紹介

I.2月15日 10:00~13:00

ゲスト：増井 香名子 氏

Kanako Masui

新見公立大学健康科学部地域福祉学科講師
大阪府立大学客員研究員
博士(社会福祉学)
社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師

地方公共団体の社会福祉職として児童養護施設・婦人相談所などで長年勤務経験あり。仕事の傍ら、大阪府立大学大学院において、DV被害者支援について研究。2017年3月博士(社会福祉学)学位取得。

2016年内閣府「配偶者暴力相談支援センター等における取組事例検討委員会」検討委員。内閣府や地方公共団体等の研修の講師多数。

著書『DV被害からの離脱・回復を支援する - 被害者の「語り」にみる経験プロセス』(2019年) ミネルヴァ書房。

II.2月15日 14:00~17:00

16日 10:00~16:20

講師：中島 幸子 氏

Sachiko Nakajima

NPO法人レジリエンス代表
DV・性暴力問題コンサルタント
米国法学博士、社会福祉学修士

暴力被害にあった経験をきっかけに、トラウマの影響、被害者支援等について学び、米国の大学院にて法学博士号、ソーシャルワーク(社会福祉学)修士号を取得。2003年、日本で「レジリエンス」を結成、暴力の影響を理解しトラウマに対応する方法を学ぶための「こころのcare講座」をスタート。当事者としての視点と支援者としての経験を踏まえ、毎年、DVや性暴力被害、トラウマの影響、解離、被害者支援に求められることなどをテーマに、全国各地で多数の講演を行う。主な著書に、「性暴力その後を生きる」、「マイ・レジリエンス ト라우マとともに生きる」、共著に「傷ついたあなたへ〈1〉、〈2〉」、共訳に「DV・虐待被害者の実体を知る」(L.バンクロフト著)、など。

II.2月16日 13:00~14:30

ゲスト：庄保 共子 氏

Tomoko Shoho

認定NPO法人こどもの里 理事長
子どもの権利条約関西ネットワーク共同代表
わが町にしなり子育てネット代表
西成区要保護児童対策地域協議会今宮校区座長

日雇い労働者の街、釜ヶ崎のこどもたちに、安心・自由・健全な遊び場を提供しようと、1997年にこどもの里をスタート。訪れるこどもたちから、背景にある困難な家庭環境が見えてきたことから、様々なサポート体制を整え、こどもにとって遊びを中心に生活習慣やいのちの大切さを学ぶ場、またこどもの家族の緊急避難場所や、生活相談の場として、里親・ファミリーホーム、自立援助ホームなど社会的養護の場を提供。路上生活を続ける人に、毛布・おにぎり・お味噌汁等を配りながら声掛けをする「こども夜回り」にも取り組む。こどもの里は二つの信念のもとに活動。一つは、こどもの最善の利益を考えること。もう一つは、こどもの自己肯定感を守り育てること。

「いくの学園主催講座2020.2.15-16」FAX申込書

①お名前 (ふりがな) ()

②FAX番号 () —

③お電話番号 () —

④お住まいの都道府県 都・道・府・県

⑤所属先

⑥職名・資格

⑦参加日 2 日間 15日(土)のみ 16日(日)のみ

*いずれかに○をしてください

FAX番号：06-6718-5205

2020年2月10日(月)必着

お支払いにつきましては受付FAXにてお知らせいたします

*1週間経っても受付FAXが届かない場合は、メール likuno.kouza@gmail.com

もしくはFAXにてご連絡ください。